

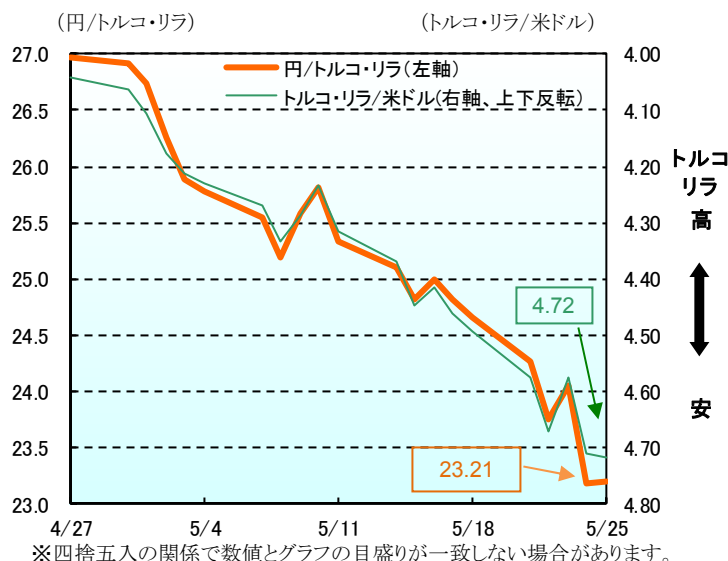
【2018年5月19日～2018年5月25日までの推移】

【1】先週の回顧

先週のトルコ・リラ相場は対米ドル、対円ともに下落しました。またトルコの2年国債金利は上昇しました。

市場では前週に引き続き、通貨、債券ともに売られる流れで始まりました。22日（現地、以下同様）には格付け会社フィッチ・レーティングスが、トルコ中央銀行の独立性に対して懸念を示しました。23日にはトルコ・リラ売りが加速したため、中央銀行は緊急会合を開催し、政策金利の一つである後期流動性貸出金利を13.50%から16.50%に引き上げました。これを受けてトルコ・リラに一時買い戻しが入りましたが、翌日再度売られたため、中央銀行は為替介入の上限枠を拡大する追加措置を発表しました。

【トルコ・リラ 為替推移】（2018年4月27日～2018年5月25日）



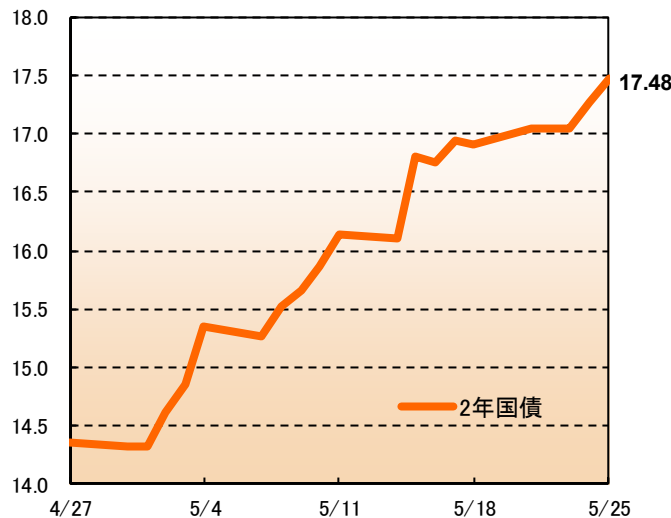
【2】今週の見通し

今週は、経済指標では4月の貿易収支の発表が予定されています。

先週中央銀行が利上げなどの緊急措置を行ったため、トルコ・リラや国債の売りが一服しています。しかし、市場では3.00%の利上げ幅でも不十分との見方もあり、今後も中央銀行の政策動向が注目されます。

エルドアン大統領は、23日の緊急利上げ後の演説で、金融政策についてグローバルな原則に従う方針を示しましたが、これまで中銀の独立性を脅かすような発言を行ってきただけに、市場の不信を払拭するには十分ではないとみられます。6月の選挙に向けて、引き続きエルドアン大統領の言動や各候補・政党支持率の推移および財政、経済運営動向に注意が必要であると考えます。

【トルコ 金利推移】（2018年4月27日～2018年5月25日）（%）



（出所：ブルームバーグより大和投資信託作成）

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212（営業日の9:00～17:00）HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>